

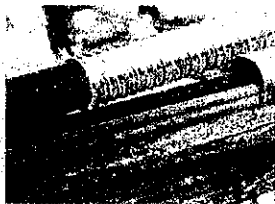
骨材、地すべり工事士の普及

し吊荷の安定を図り、1リング分8枚のライナープレート
の坑内荷降ろしを行えることで、安全かつ効率的に行
う事ができたという。

SHS永久アンカー工法

SHS アンカー工法は、信頼性の高い二重防錆を施した
永久アンカーを使用。自由長部は、防食性を高めるため
ポリエチレンシースを使用し、定着長部シーすにはグラ
ウトとの付着性能を高めるためにステンレスのアイ
ンディングシーすを使用。また、SHS 永久アンカーケー
ブルは、AAW パネル、クロスビーム、KKE 受圧板、KKE
フレーム、フリーフレーム、SEC 工法などと組み合わせ
て、地山全体を長期にわたって安定させることができる。

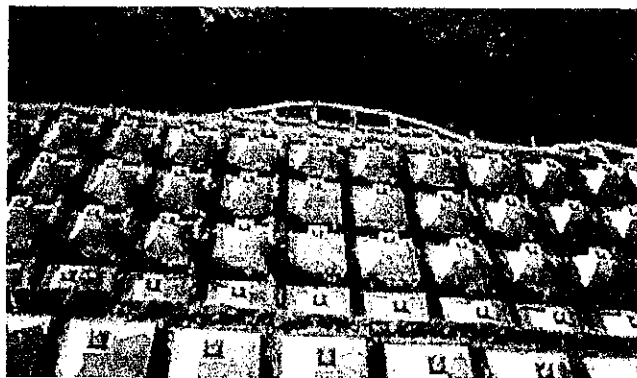
原社長は「雨水で腐食することがないため耐久性に優
れ、安心して採用できる。価格の安さばかりでなく、長期
的なコストと安心を考慮して採用してもらいたい」と話す。



自由長部ポリエチレン
シーすをSHSシーす内
へ20cm挿入



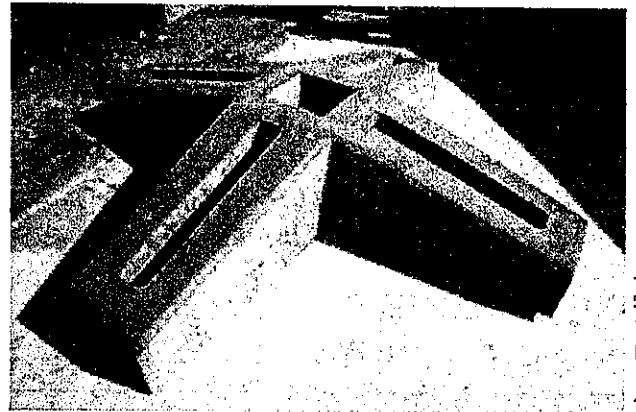
トランペットシーす付支圧板の設置



KKE受圧板+SHS永久アンカー

ミラクルソルで軽量コンクリート

コンクリート建築物や構造物の高層化や工事の省力化
に伴うコンクリートの軽量化が望まれているが、同社は
発泡廃ガラスのミラクルソルを骨材（碎石）の代わりに
コンクリート2次製品も製品化。長大斜面に用いる場
合が多いアンカーの受圧板で、発泡廃ガラス材を粗骨材
としてRC 十字ブロックを作製。運搬・施工が地形的に
困難ななか、軽量化で施工が容易になる。また、雪国の
斜面における雪崩防止ブロックも軽量骨材を使用し製



RC十字ブロック

作。発泡廃ガラス材をコンクリートの骨材として用いる
と単位体積質量は約45%も大幅に低減。コンクリート
2次製品では従来の製品より3分の2に軽量化し、普
通骨材に相当する強度を得ている。

建設マスターを受賞 同社の久保、石原2氏



優秀施工者
国土交通大臣顕彰式



建設マスターを受賞した久保さん(右)と石原さん

原社長は、佐賀県地質調査業協会理事長として、斜面
防災工事を専門的に施工できる地すべり工事士の普及
に力を入れており、同社ではボーリング技術者2人が
2016年度の国土交通省優秀施工者（建設マスター）を
受賞した。

久保浩一氏（52才、建設マスター）と石原誠太郎氏
（39才、建設ジュニアマスター）の2氏。久保さんは
ボーリングに携わって34年、卓越した技術・技能とと
もに、若手技術者の育成に寄与した功績が認められた。
「地下の地層を見て的確に地質の状態を判断することが
醍醐味」と語る。一方、石原さんは、唐津工業高校卒業
後、同社に入社し21年。数年前に工期が短くハードな
現場で悪戦苦闘した結果、県から81点の評価を得た。「我
慢が大事。5年経つと何かが見え、その苦勞の成果が分
かるようになる」と自身の経験を語る。